

# News Release



令和4年11月25日

各報道機関文教担当記者 殿

## 平川理恵氏と考える新たな教育の未来

このたび、金沢大学附属学校は、第3回Project HESOセミナー開催（協賛：株式会社アイ・オー・データ機器）に際し、数多くの教育改革に携わってきた広島県教育委員会教育長の平川理恵氏（※）を招き、「教育の未来を切り拓く」というテーマで講演会を開催します。

当日は、学校関係者だけではなく、教育に興味をもつ多くの方が集まり、これからの教育について考えます。

- (※) 1991年にリクルート入社。1999年に留学仲介会社を起業し10年間経営。  
2010年に公募で女性初の公立中学校民間人校長として横浜市立市ヶ尾中学校に着任。  
2015年に横浜市立中川西中学校長に着任。その間、中央教育審議会教育課程企画特別部会委員として新学習指導要領改訂作業に携わる。2018年4月より広島県教育委員会教育長に就任。

### 平川理恵氏と考える新たな教育の未来

- 実施日：11月26日（土）14：00～16：00
- 実施場所：株式会社アイ・オー・データ機器第2ビル（金沢市桜田町2-84）
- 参加者：金沢市附属学校園コラボレーション推進室、イベント来場者
- 実施内容：Project HESOの概要説明  
平川理恵氏ご講演「教育の未来を切り拓く」

つきましては、当日の取材・報道をお願いします。

取材の際は、11月25日（金）16：00までに別紙取材申し込みのFAXをお願いします。

#### 【お問い合わせ先】

金沢大学人間社会系事務部総務課附属学校事務係（担当：寺田）  
TEL 076-226-2182 FAX 076-245-8630  
e-mail: edfuzo1@adm.kanazawa-u.ac.jp（9：00～17：00）

取材を希望する場合は、本申込書を  
11月25日（金）16：00までに  
下記の宛先へ送付してください。

金沢大学  
人間社会系事務部総務課附属学校事務係  
FAX：076-245-8630

申込日：令和4年11月 日

## 平川理恵氏と考える新たな教育の未来 取材申込書

報道機関名： \_\_\_\_\_

取材記者名： \_\_\_\_\_ 様

連絡先： \_\_\_\_\_ ( \_\_\_\_\_ )

同行者（カメラマン等）： \_\_\_\_\_ 名（上記記者除く）

カメラ等の内訳（台数）： \_\_\_\_\_

（例）テレビカメラ 1台

日時：令和4年11月26日（土）14：00～16：00

実施場所：株式会社アイ・オー・データ機器第2ビル  
（金沢市桜田町2-84）

※新型コロナウイルス感染症対策のため、来校の際は、検温の上、マスクの着用  
（鼻と口の両方を確実に覆うこと）および手指消毒の励行等にご協力ください。  
また、取材記者・同行者数も最小人数でお願いします。

担当：金沢大学人間社会系事務部総務課附属学校事務係 寺田  
TEL：076-226-2182 FAX：076-245-8630  
MAIL：edfuzo1@adm.kanazawa-u.ac.jp

(目指すべき理想の姿)

## VISION

KU5

# 学校を拠点に、 新たな価値を創造する

KU5（金沢大学附属5校園）が、地域社会と協働でプロジェクトに取り組みます。プロジェクト誕生の背景には、グローバル化やAIの普及によって今後も不確実性が高まる時代の流れがあります。子どもたちが、予測困難な未来をよりよく生き抜くためには、自ら課題を見つけ、学び、考える力 — さらにAIに頼ることなく自らの判断で行動し、道を切り拓いていく力が必要です。そういった力を、子どもたちの中心（HESO）に育むことを教育機関の使命ととらえ、コラボレーション推進室が学校と地域社会の架け橋となって探究学習＝プロジェクトHESO（へそ）を実行し、新たな価値を創造します。

1



身体や物の「中心」を表すのが「HESO（臍・へそ）」であることからプロジェクト名をプロジェクトHESOとしました。学校を起点としたプロジェクトを通じて、子どもたちの中心（HESO）に新たな力が宿り、成長してほしいという願いが込められています。丸いへそをイメージさせる「O」の文字は、多くの○や△、□で構成され、社会の垣根をなくしてさまざまな人や物が集うプロジェクトの多様性を表現しています。

2

(果たすべき使命)

## MISSION

# HESOを創る

### 社会イノベーション創造プログラムの実施

プロジェクトHESOの中心となるのが、年齢に応じた「社会イノベーション創造プログラム」の実施です。5校園に通う3歳から18歳の子どもたちが自ら発見し、感じた実社会の課題に対し、さまざまなパートナー（地域人材・行政機関・一般企業・大学研究室など）の協力を得ながら、解決へのロードマップを子ども自身が模索します。推進室はパートナーの新規開拓や連携調整を行い、子どもたちが主体的に考えて動く「考動体験」を促します。プログラムの進捗状況や実施効果については公開予定のWebサイトにて随時発信予定です。

### 先端技術・教育データ活用プロジェクト

教員が情報端末において専用のシステムを活用することで、学びを「見える化」。そこで得られた気づきやデータを教育の場の現場にフィードバックします。

3

(プロジェクト内外に約束する価値・行動基準)

## VALUE

# 社会に誇れるストーリーの創造

外部パートナー・教員とともに次の時代の金沢を生み出す人づくり、これまでにない教育モデルの確立を目指します。プロジェクトには、誰もが自由に参加でき、互いの刺激を成長につながります。社会、そして未来に誇れる新しい物語を、私たちと一緒に創り出してください。

4